生活クラブのエネルギー７原則

前文

　わたしたちは、人類の共通資産である化石資源を大量に消費することで、産業革命以前の人々とは比べようのないほど膨大なエネルギーを獲得し、いまの豊かな暮らしを実現しています。

このような暮らしは持続可能（＝サステイナブル）ではありません。3.11は、これらのことに改めて気づかせてくれました。わたしたちは、限りある資源を 未来の子どもたちと分かち合わなければなりません。そして、“もったいない”という気持ちを大切にする暮らし、“足るを知る”という節度ある暮らしに立ち 返りたいと思います。

生活クラブは、省エネルギーをすすめながら再生可能な自然エネルギーによる電気の普及に取り組み、一日でも早く原発に依存しなくてよい社会を構築することを決意して、ここに「生活クラブのエネルギー7原則」を定めます。

１：省エネルギーを柱とします。

　　エネルギーを大量生産・大量消費する“ムダづかいの社会“から、省エネルギーを柱とした“持続可能（＝サステイナブル）な社会”への転換をはかります。

２：原発のない社会、CO2を減らせる社会をつくります。

省エネルギーをすすめながら、再生可能な自然エネルギーによる発電事業に取り組み、原発のない社会、ＣＯ2を減らせる社会の構築をめざします。

３：地域への貢献と自然環境に留意した発電事業をすすめます。

再生可能エネルギーによる発電事業を行うにあたっては、発電施設や機器を設置する地域への貢献に努めるとともに、自然環境への影響に留意してすすめます。

４：電気の価格や送配電のしくみを明らかにします。

発電事業を通じて、これまで電力会社による地域独占というブラックボックスに隠されていた電気の価格や送配電等のしくみを明らかにします。

５：生活クラブの提携産地との連携を深め、エネルギー自給率を高めます。

産地との提携をすすめ、食べもの（Food）に加えて、再生可能なエネルギー（Energy）を介した生産者との連携を深めます。

６：エシカルコンシューマーとして、再生可能エネルギーによる電気を積極的に共同購入します。

エシカルコンシューマー（\*）として、提携生産者や協力事業者が再生可能エネルギーでつくった電気については、適正価格で積極的に共同購入します。

（\*）エシカルコンシューマーとは、「環境や社会に配慮した商品・サービスを選択し、購入・利用するなどの消費行動をつうじて、社会的な課題の解決に寄与していこうという意識を持った消費者」のことで、エコロジーやグリーンなどをさらにすすめた「倫理的・道徳的な消費活動」に取り組む人々をいいます。

７：生産から廃棄までトータルで責任を持ちます。

使い終わった発電機器を廃棄するときは、できるだけリサイクルします。処分しなければならない場合でも、最新の情報に基づいて責任を持って適正に処分します。

（備考）家庭で使われるエネルギーのおよそ6割は熱エネルギーですが、コージェネレーション（熱電供給）の導入拡大など熱エネルギーの自給については今後の課題とします。2017年頃を目安に検討し、必要があれば「生活クラブのエネルギー原則」に加えることを想定します。